※令和４年度以降入学生用

学校番号	２２０１

令和８年度　商業科

教科	商業	科目	課題研究	単位数	2	年次	２～４
使用教科書	なし						
副教材等	課題研究日誌						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

前期は各自設定した検定試験に対し資格取得を目指す。後期は各自が設定した「テーマ」をもとに調査・研究し発表する。いずれにしても、自分の進路・興味・関心をもとに検定種目や「テーマ」を設定することが重要である。特に、後半の「テーマ」に関しては、深く掘り下げた調査・研究をもとに、自分の考えやまとめを人前でプレゼンテーションする機会を設ける。

2　学習の到達目標

① 一般教養の知識を身につけ、商業に関する課題を自ら設定する。
② 課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図る。
③ 問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	一般教養ドリルの内容を知識として吸収できたか。 検定試験問題の学習を活用して、知識・技術が身についたか。 調査・研究・発表では、調査方法、研究方法、発表方法が身についたか。	自らの計画について、常に検証し、よりよい方法を探る努力をしているか。収集した情報を正しく精査し判断材料としているか。日誌に本日の学習内容と課題解決を分かりやすく記入しているか。	課題研究の授業内容について理解し、課題研究に関心を持ち、自ら進んで課題を設定し、課題解決しようとしているか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

月	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
4	オリエンテーション 年間スケジュールの説明	a 毎回 10 分間　一般教養ドリルの学習 前期は検定試験の学習、後期は調査・研究 b 興味や進路にそった資格の選定や調査・研究するテーマを自ら考える。 c 課題研究に取り組む意欲を啓発する。	一般教養 定期考査 資格取得	一般教養 定期考査 資格取得 課題日誌	学習状況 課題日誌
	取り組む資格の設定	a 各自の課題及び関係分野を確認させる。 b 職業資格について考えているか。 c 取り組む検定試験を自ら決めているか。			
5 6 7 8	一般教養の学習 検定試験問題の学習	a 一般教養のドリルを学習する。 b 知識・技術の到達度から、どのような学習の必要性があるのかを分析し、その後の課題と授業計画を設定する。 c 自発的学習を促進し、指導助言することを心掛ける。自らが立案した学習計画に意欲的に取り組んでいるか。	一般教養 定期考査 資格取得	一般教養 定期考査 資格取得 課題日誌	学習状況 課題日誌 自己評価 振返り
9 10	オリエンテーション 「調査・研究・発表」について	a「調査・研究・発表」の方法について理解し、調査・研究・発表の方法が身についたか。 b 情報の収集方法をいろいろ試し、多方面からの情報を比較検討する姿勢を養う。 c 自ら進んで課題を設定し、解決しようとしているか。	一般教養 定期考査 発表準備	一般教養 定期考査 発表準備 課題日誌	学習状況 課題日誌 レポート
	仮テーマを考える 本テーマ決定	a 各自の課題及び関係分野を想定し、仮テーマを考えレポートにまとめる。 b 興味・関心ある複数の仮テーマを振り返ることにより、本テーマが浮かび上がってくるため、時間をかけて仮テーマを考える。 c 複数の仮テーマから、調査・研究の対象となる本テーマを自ら決める。			
11 12	調査・研究活動 書籍による 新聞　〃 インターネット〃 行政資料〃	a これまでの調査・研究から、一定の知識を得ることができたか。 b インターネットの大量の情報に対して、調査方法や分析方法などについて検討する。 c テーマの調査・研究の進め方を自分で計画することができたか。	一般教養 定期考査 発表準備 プレゼン	一般教養 定期考査 発表準備 課題日誌	学習状況 課題日誌 発表準備 レポート
1 2 3	研究発表 パワーポイントによる発表 模造紙による発表	a パワーポイント作成や人前での話し方など発表方法の仕方が身についたか。 b テーマに関する発表の準備をする。 c テーマの発表に対して、意欲をもってできたか。	発表準備 プレゼン	発表準備 課題日誌	学習状況 課題日誌 発表準備 相互評価 振返り

※　表中の観点について　a: 知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度